

# 労組 掲示板

掲示期間

11/24(木)~11/30(水)

2016年11月16日発行/No.129

ユーコープ労働組合書記局 神奈川県横浜市中区太田町6-84-2 TEL 045-319-4891 FAX 045-319-4893



秋闘第2回団体交渉(11月18日 やまなし県本部)

2016年秋闘第2回団体交渉が11月18日夜、ユーコープやまなし県本部でおこなわれ、山梨県内勤務の労組員を中心に60人が参加しました。最終交渉は、11月26日午後4時から、桜木町の横浜市従会館でおこなわれます。

## 2016 秋闘第2回団交速報

### 第2回団交の主な内容

# 自動配順は失敗であった



団交で発言する朝原常務執行役員

#### ■事業政策に関わる要求

#### \*ナビゲーションシステム総括の提示

『私は当時、責任者を務めていた。申し訳なく心から反省している。いろいろな人が関わっていたが、すべての結果責任は私にある』と朝原本部長が明言

【労組参加者】\*パイロットセンターでナビでの配送をした結果発行枚数が大幅減になり組合員離れが発生した。\*沼津センターだけ自動配順を残すと言ったが、いまだ固定コースだ、その後どう対応しているのか? \*配順が変わり、配送効率が悪く時間超過し毎日残業。未割り付けが発生し配順を修正するのに毎日稼働時間を費やし多額の人件費が消えた。\*費用対効果と導入費用がどれだけあったか知りたい。組合員のお金だ「ロースカツ問題」に匹敵する問題だ、掲示だけで済ますのはおかしい。センターを回って説明すべき。総代会でも組合員にお詫びすべきだ。

【理事会(朝原常務執行役員・統合マネジメント本部長)】

- \* 発言重く受け止めたい。自動配順は失敗であった。私(朝原本部長)は、当時の責任者を務めていた。申し訳なく心から反省している。いろいろな人が関わっていたが、「すべての結果責任は私にある」。どう責任を取り、今後責任を果たすかはまた別のことである。職員の思い・組合員の思いを結果として裏切ることとなった。
- \* この失敗の教訓は少なくとも3つあると認識している。①現場で働く者が参画する機会を作らずに本部主導で実行してしまったこと。②現場が「やりたい、やれる」という気持ちが作れないまま突っ走ってしまったこと。③「組合員が何を求めているのか」を見誤ったこと。例えば、3時間の時間帯での配送、配送担当者が毎週変わるなど。組合員は定時配送ところどころ変わらない馴染みの配送担当者を求めている。
- \* おうちコープシステム変更全体にかかった費用は25億円。そのうち配順システム部分は10億円で、更にその中でナビシステムに5億がかかった。投資した25億はすでに回収している。ユーコープの経営全体として、総代会で説明し判断してもらっている。

#### \*店舗事業改革

【理事会(朝原常務執行役員・統合マネジメント本部長)】

- \* 2015年度閉店店舗7店舗のうち5店舗は直刺黒字見込める。下野東店は契約上の問題、ちづか店は新しい店づくりの実験店舗とする。2次中計で20億の赤字ゼロは難しいが、チャレンジして黒字化したい。このチャレンジにちづか店が含まれる。ちづか店は、80坪という大きさと地域の高齢化がすすんでおり、競合店もある。ちづか店の実験は「プロセスの転換」にある。「失敗に学ぶプロジェクト」で過去の店舗の失敗を検証した。今までは「売り手側の都合」で店を作ってきた。これをやめて「地域の組合員目線」で一から店作りをする。休止している組合員を含めて、どういう店が求められているのか、品揃えや機能などデータ分析すすめる。
- \* 11月から「未来のコープ拠点づくりプロジェクト」を立ち上げる。地域の拠点つくる。期間は3年間。責任者:土屋専務理事、副責任者:佐藤常務理事、実務責任:朝原常務執行役員。「①地域の組合員の声」「②利用状況の分析」「③競合店舗調査」「④宅配の商品受け取りやマイシ受け取りなどができる店」の4チームで構成する。

あなたも団体交渉へ

第3回 11/26(土)16時~18時 横浜市従会館4階(桜木町)